

令和7年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立楠栖小学校	作成者	職名	教頭					
電話番号	(0956)69-2513		氏名	佐藤 友昭					
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）									
4月	実施テーマ	体罰の禁止、セクハラ・わいせつ行為の禁止、飲酒運転の根絶							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 通知文書の内容を踏まえ、体罰及び不適切な指導の根絶、並びに教職員の綱紀の保持と服務規律の徹底について、管理職より全職員へ周知・指導を実施。 ・ 年度当初の職員会議や打合せの機会を活用し、具体的事例を示しながら服務の基本を確認し、教職員一人一人の服務に対する自覚の向上を図った。 ・ 「わいせつ行為等防止のための自己分析チェックシート」を活用し、各自が行動や意識を振り返る機会を設定。 ・ 倫理意識及び法令遵守意識の再確認を行い、年度初めにおける服務規律保持への意識づけを実施及び「コンプライアンスファイル」の活用について共通理解を図った。 									
7月	実施テーマ	児童生徒性暴力等の防止に関する教師の服務規律の確保の徹底							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係法令や通知の趣旨を踏まえ、教師による性暴力等の防止に関する服務規律研修を実施。 ・ 陣内教育長の「緊急メッセージ」を全職員で読み合わせ、内容を確認。 ・ 教育公務員としての使命と責任の重さについて認識を共有し危機意識の醸成を図った。 ・ 盗撮等の不適切行為の未然防止の観点から、教室や更衣場所等の整理整頓及び環境点検を実施。校内におけるスマートフォン等私的端末の使用禁止を再徹底。 ・ 服務規律の確保を具体的行動に結び付け、児童生徒の安全・安心を守る体制の強化を図った。 									
12月	実施テーマ	学校現場で直面する法的リスクについて（スクールロイヤー）							
<ul style="list-style-type: none"> ・ スクールロイヤーを講師として服務規律研修を実施。 ・ 威圧的な指導や不適切発言の具体例を取り上げ、児童生徒の権利侵害や法的責任につながる可能性について理解を深めた。 ・ 日常的な言動が重大な問題へ発展するリスクを共有し指導の在り方を見直す機会とした。 ・ 保護者対応における法的視点、説明責任の重要性、記録の残し方、組織的対応の必要性について確認。 ・ 個人情報の適切な管理や情報漏えい防止の留意点を具体的に学び、情報管理の徹底を再確認。 ・ 法令遵守の観点を常に意識し、冷静かつ適切に対応する姿勢の醸成を図った。 									
2 服務規律委員会									
委員会名	楠栖小学校服務規律委員会								
構成員	所属内委員（5名）、外部委員（1名 役職等：PTA会長）								
3 年間を通しての計画の達成状況									
年間を通しての取組状況チェックリスト									
(1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）									
	イ	ウ	オ	カ	キ	ク			
(2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。 ※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。									
	<input checked="" type="radio"/> できた	<input type="radio"/> 概ねできた	<input type="radio"/> 少し不十分	<input type="radio"/> できなかった					
(3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。									
	<input checked="" type="radio"/> できた	<input type="radio"/> 概ねできた	<input type="radio"/> 少し不十分	<input type="radio"/> できなかった					
(4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。									
	<input checked="" type="radio"/> できた	<input type="radio"/> 概ねできた	<input type="radio"/> 不十分だった	<input type="radio"/> 実施していない					
資料添付				無					